

## 札幌国際スキースクールテクニカルプライズテスト講評 (3月29日開催)

### 【総評】

この時期としては雪面状況も良い条件の中、検定が実施できました。

全体に見られた滑りの傾向としては上下動を活用している方が多く見受けられましたので、今後は雪面からの圧を上を抜かずに次のターンへ推進力がつながる滑りを課題に練習して下さい。

また、ゴールエリアで停止できない方が多く見受けられましたので、今後はしっかり停止までスキーをコントロールできるように心掛けてください。

### 【総合滑降・大回り】

合格した方はエッジグリップを外さず、しっかりスキーの推進力を引き出した積極的な滑りが見られました。

惜しくも合格点に届かなかった方は全体に内倒傾向の方が多く、必要以上の上下動、ローテーションが目立ち、十分なスキーのたわみを引き出せずにターン弧が浅くなってしまう傾向が見られた。

また、腰の外向が過度に出て正確にスキーへの荷重が行えずに左右へ角を当てるだけになり、スピードコントロールが行えていない滑りも見受けられました。

### 【小回り】

合格した方は落下力を利用し、スキーのサイドカーブとたわみを活用したカービング要素が引き出された滑りが見事でした。

惜しくも合格点に達しなかった方はひねり、ズラシを中心に滑りを組み立てている方が多く見られた。

### 【不整地小回り】

比較的、柔らかい雪面状況の中で、合格された方はしっかりとコブにスキーを張り付け、せ、吸収動作もしっかりと行っていました。

惜しくも不合格になった方はコブへの対応が遅れてスキーが浮かされ、ブレーキ要素の強い滑りとなっていました。今後の課題としては、コブ斜面での脚部の運動や抵抗の受け方の習熟が必要と思われます。

春シーズンはコブの練習に最適な季節なので、しっかりと滑り込んで練習に励んでください。